

令和元年（平成31年）HITSの10大ニュース

公益財団法人日立地区産業支援センター

1 日立地区産業支援センター、開設20周年を迎える。

平成11年4月5日の開設から今年で20周年を迎えました。

11月に記念式典を開催し、設立から現在までのセンターの歩みを振り返るとともに、これまでの経験、蓄積を活かし、皆様方の信頼にしっかりと応えるべく決意を新たにいたしました。

また、20周年記念事業の一環として、全国の活力ある若手経営者及び産業支援人材が一堂に会し、ものづくりの未来を展望する「全国若手ものづくりシンポジウム in ひたち」を開催しました。

このシンポジウムをきっかけに、参加者の皆さんが新たなビジネスの芽を見出し、地域を共に創造していく原動力となることが期待されます。



シンポジウムの様子

2 ものづくり基礎技術研修に多くの方が参加

新入社員や初心者を対象とした、ものづくり基礎技術研修を行いました。図面の見方講座は、機械編（参加者63名）、製缶・溶接編（参加者29名）及び電気編（参加者18名）の3つの講座に分けて開催しました。また、ノギスやマイクロメーターなどの測定器取扱基礎研修については、定員の20名を上回る35名の参加申込があり、開催日を追加して実施しました。また、3D-CAD操作研修（参加者13名）、マシニングセンタ操作研修（参加者16名）についても、参加者から理解しやすいといった評価をいただいています。

また、日立地区産業支援センターでは、1月に三次元測定機、11月に振動試験機を更新しました。基本的な操作の手引きも可能ですので、ご利用、ご相談をお待ちしています。

3 展示会出展で自社の製品や技術をアピール

今年は、新たに「高精度・難加工技術展（9/4～6・会場：パシフィコ横浜）」に7社とともに出展しました。来場者数56,185名、私たちのブースにも約600名の来場があり、具体的な商談にもつながりました。

また、例年出展している「試作市場（4/25～26・会場：大田区産業プラザ）」には、8社が出展し、自社技術のアピールを行いました。



高精度・難加工技術展出展風景

4 受注顧客開拓では、受注金額が増加

受発注コーディネーターが首都圏企業を訪問し、開拓した発注案件を地域中小企業に情報提供する事業です。平成31年1月～令和元年11月の総受注件数175件（前年185件）、総受注額3億1,036万円（前年2億3,856万円）で前年比7,180万円の増でした。新規受注についても、新規受注件数20件（前年14件）、新規受注額7,495万円（前年1,367万円）で前年比6,128万円の増でした。年度終盤に向けて引き続き努力します。

5 経済産業省の地域中核企業ローカルイノベーション支援事業に採択

「異業種連携共同受注体G L I Tの販路開拓支援による地域イノベーション促進事業」が採択され、国内及び海外（欧米地域及び中国）の医療産業分野を中心とした成長産業への新規参入、販路拡大を図り、地域のものづくり産業の活性化を目指しています。



中国国際工業博覧会出展風景

6 外国人材活用支援事業がスタート

地域企業の人材不足に対応し、競争力を維持・強化するための一方策として、優秀な外国人材を活用できる体制づくりを支援するため、外国人材活用支援事業を始めました。本年は、外国人材活用セミナーを実施したほか、地域企業の皆様とともに、ミャンマーの人材送り出し機関等の調査を行いました。

7 I o T対応支援の取組みが進展

I o T導入診断、I o Tツール導入支援、I o Tショールーム整備支援及びI T活用研究会など、I o T導入の入口から、実践、活用まで、地域企業のI o T化促進に向けた取組みを進めています。I o Tツールの導入による設備の稼働率が向上した事例も出てきました。

8 地域交流企業見学会を実施

新たな交流とビジネスのヒントを発見する機会を提供する地域交流講演会事業の一環として、金庫製造販売で国内シェア60%の太子町の(株)エコー茨城工場及びAM (Additive Manufacturing) 事業を展開する三菱日立パワーシステムズ(株)日立工場の見学会を実施しました。当センターでは、今後AM事業関連の研究会を立上げ予定です。

9 ドイツとのビジネス交流がきっかけでドイツ企業の日本法人が日立市内に設立

平成27年から30年にかけてドイツ・バーデン＝ヴュルテンベルク州との間で進めてきたビジネス交流事業をきっかけに、ドイツのソフトウェア会社のEVO社が日立地区産業支援センターMCO内に日本法人EVO JAPAN(株)を設立しました。HITSとしても更なる交流のきっかけとなるよう次年度の事業につなげてまいります。

10 若手農業者の会が発足

農商工連携の取組を支援する中でいただいた若手農業者の声をきっかけに、近隣の若手農業者のネットワーク構築のための会「Re:Agri (リ・アグリ)」が発足しました。土壌微生物に関する勉強会や、日立市産業祭でこだわり農家の取組みのPRなどを行いました。ファーマーズマーケットなども実施予定です。

※ 本年、国の顕彰事業で選定された県北臨海地域の企業のご紹介 (50音順)

「はばたく中小企業・小規模事業者300社(経済産業省)」
・(株)伊藤鑄造鉄工所、(株)大貫工業所、相鐵(株)

【人事往来】

1 就任・採用

- (1) 菊野センター長 (R1. 6. 25)
- (2) 鈴木コーディネーター (H31. 4. 1)、大脇コーディネーター (R1. 5. 7)

2 退任・退職

- (1) 大原センター長 (R1. 6. 25)
- (2) 日向コーディネーター (H31. 3. 31)

3 異動 荻谷主事は関東経済産業局へ、青木主事がジェトロ茨城から (H31. 4. 1)